

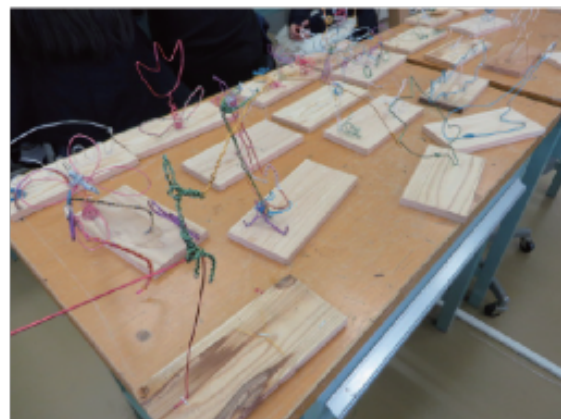
社会人講師授業

1月14日（木）の1～2限と1月21日（木）1～2限に社会人講師の方をお招きして、情報科学科のコンピュータデザインコースの生徒が授業を通じて交流をしました。

お招きしたのは、造形作家の徳持耕一郎さん。版画全般を学び木版画を10年間制作。1989年にNYでの個展をきっかけに、アートとジャズに出会いました。ジャズライブを聴いている最中にナブキンにスケッチをしたことから、以来ジャズに関する作品を発表しています。鉄筋彫刻をはじめ、銅版画やシルクスクリーンなど作品多数。アルバムジャ

ケットやスイングジャーナルなどの雑誌イラストも数多く手掛けています。

そんなすごい方に来ていただき、私たちは針金アートを教わりました。以前保育園の子どもたちにも教えていたウサギと猫の簡単な作り方を最初に教えていただき、自分たちの作品を制作していきました。デザインコースということもあって、とても個性的で完成度の高い作品が仕上がりました。



iPad 活用日記

1月20日に、三年生の発展数学IIの授業でiPadを活用しました。Numbersというアプリケーションを使用し、媒介変数を用いて表された曲線を描きました。

円や楕円を描いた後は、正葉曲線やリサージュ曲線なども描きました。Numbersでは、問題で問われている式を入力し、データからグラフを作成することができます。私も発展数学IIを選択しており、授業でiPadを活用しましたが、コンピューターで使用するms Excelとはまた違い、直接触れて数字を入力でき、それぞれが自分のペースで自主的に作業できると感じました。実際に自分で式を入力したり、グラフを作成したりすることでより授業への理解が深まりました。

1月28日にはiPad活用公開研究会がありました。

1年情報科学科と1年緑地デザイン科の公開授業があり、理科と情報の授業でiPadを活用して授業を行いました。

理科の授業では「酸素の運搬の学習」においてiPadを活用し、情報の授業ではプレゼンテーションで、プロジェクト学習として「とつとり元氣プロジェクト」を行い、iPadを活用しました。どちらの授業も生徒が活発に活動する姿が見られました。

iPadを活用した授業は、生徒達が積極的に取り組むことができグループで話し合いながら作業する場面も多くなるので、生徒の授業への関心・理解、そして生徒同士の交流にも繋がります。

これからもっと授業や実習など、iPadを活用する場面が増えていくことと思います。